

## 地球惑星科学委員会 IUGS 分科会 IPA 小委員会 (第 26 期) 第 2 回 議事要旨

日時 : 令和 7 年 12 月 1 日 (月) 14:00~15:05

場所 : オンライン開催

出席 : 北村, 堀, 西田, 西, 大路, 齋藤, 佐藤, 生形, 遠藤

記録 : 齋藤

議事 :

### 1. 委員長の交代について

北村晃寿委員長に代わり, 生形貴男委員を委員長に選出した. 幹事は齋藤めぐみ委員が務める. 任期は 2026 年 9 月 30 日までとし, 学術会議の動向に合わせて変更される可能性あり.

### 2. IPA 関連の世界の動向についての情報共有

#### 1) IUBS 総会にあわせたイベント Changes in biodiversity and the evolution of present biomes : A joint IUBS – INQUA workshop for Early Career Researchers (ECR)について

IUBS と INQUA が企画し, 国際動物学会, 国際古植物学機構が応援して, 来年 6 月 9–13 日にインドで開催される. INQUA 分科会や関連学会には情報を伝えたが, 残念ながら日本からのエントリーはなかった. 日本第四紀学会を通じた紹介や募集がなかった可能性が指摘され, これを反省し日本国内の国際対応を活性化させるべきであることを確認した.

#### 2) 第 12 回欧州花粉学・古植物学会議 EPPC XII について

2026 年 9 月 20–24 日にミュンヘンで開催される. Second Circular の配布は遅れている.

#### 3) 南アフリカで開催される IPC7 について

2026 年 11 月 30 日–12 月 3 日に IPC7 が Cape Town で開催される. 日本古生物学会会員等へ周知していただきたい.

#### 4) IPA の次期役員について

2026 年までが現在の役員の任期. 次期役員の推薦依頼が日本古生物学会にあり, 2025 年 11 月 29 日の日本古生物学会評議員会にて, 日本からは大路 IPA 副会長を再度副会長に推薦することが決定された.

#### 5) 日本古生物学会の常務委員会および評議員会で共有されている情報について

2025 年 3 月の第 5 回評議員会通信投票で, APA 副事務局長に對比地孝亘委員を候補者として推薦することが承認された.

#### 6) APC について

日本古生物学会常務委員会及び評議員会にて, タイで開催される APC3 に積極的に参加しセッション提案してほしいとの呼びかけがあった. 福井県立大との共同研究関連等, 提案できるセッションがあるはずなので準備する.

#### 7) APA 理事会について

2026年1月もしくは2月に開催する予定で、次の会長の選出方法を決める予定。

### 3. 国立自然史博物館設立への動向と関係学術シンポジウム報告

11月22日に開催された公開シンポジウムの内容について報告があった。参加者は60-70名。宣伝活動が不十分だった可能性がある。12月11日に沖縄県で県民会議を立ち上げることとなり、その際にシンポジウムが開催される予定。

### 4. その他

#### 1) 国際対応について国内学会との連携を滞りなく進める方策について

INQUA, IUGS Geoheritage Geo-collections 等, 連絡の不達などの問題がある可能性が指摘され、その原因の究明が課題であることが認識された。

#### 2) 次回委員会の開催について

大阪年会の直前に、対面もしくはオンライン（ハイブリッド）で開催する。

#### 3) IUGS Geoheritage について

3回目の募集が行われている。海外では古生物関連のサイトも選ばれているが、日本からはまだ選ばれていないという現状がある。